

県立高等学校を めざすみなさんへ

(令和7年度入学者選抜)

自分のよさを生かすために
進みたい道を見つけよう

富山県教育委員会

県立高校は、それぞれの学科やコースに応じて、いろいろな魅力ある教育活動を行っています。

「高校で、どのようなことを勉強したいか」

「将来、どのような職業につきたいか」

真剣に考えて志願校を決めましょう。そして、夢と希望の実現をめざしましょう。

この冊子は、進路を考えるための資料です。

担任の先生や保護者の方とよく話し合い、自分の考えを深めてください。



目次

令和7年度入学者選抜の日程	1
志願校の決定から合格発表まで	2
入学者選抜のしくみ	
全日制	3
定時制・通信制	4
令和7年度入学者選抜ニュース	5
入学者選抜用語Q&A	5
富山県教育委員会からのお知らせ	5
あなたを生かす課程と学科・コース	6
県立特別支援学校高等部入学者選抜のしくみ	7
学校別入学者選抜実施概要一覧	
全日制の課程	8
定時制の課程	13
通信制の課程	13
専攻科	13

令和7年度入学者選抜の日程

全日制の課程

推薦選抜

志願受付	1/31(金)
志願締切	2/4(火)
面接等実施	10(月)
合格内定通知	13(木)

一般選抜

志願受付	2/20(木)
志願締切	25(火)
学力検査第1日	3/6(木)
学力検査第2日	7(金)
追検査	11(火)
合格発表 推薦・一般	14(金)

第2次選抜

志願受付	3/17(月)
志願締切	18(火)
合格発表	21(金)

定時制の課程 通信制の課程

単位制以外・通信制

2/20(木)	志願受付
25(火)	志願締切
3/6(木)	検査実施
7(金)	面接予備日
14(金)	合格発表

単位制

前期第1次選抜

第1次選抜

3/17(月)	志願受付
18(火)	志願締切
21(金)	検査実施
25(火)	合格発表

前期第2次選抜

第2次選抜

3/25(火)	志願受付
26(水)	志願締切
学校毎に検査実施	
学校毎に合格発表	

後期選抜

9/1(月)	志願受付
3(水)	志願締切
10(水)	検査実施
12(金)	合格発表



志願校の決定から合格発表まで

志願校の決定

○まずは自分の志願校を決めましょう。

- ・各高校の学科やコースなどの特色をよく調べてください。
- ・保護者とよく話し合った上で、自分の目標となる高校を決めてください。

○次に先生に相談しましょう。

- ・将来の進路などもふくめて、担任の先生によく相談してください。

こんなときは

☆全日制【推薦】を志願するとき

- ・自分の良いところをしっかりとらえ担任の先生に相談してください。中学校では、推薦の志願資格を満たしているかなど慎重に検討します。

☆受検への配慮が必要なとき

- ・視力、聴力、肢体状況、病気等で何らかの配慮が必要な場合は、担任の先生に相談してください。

出願 全日制及び 定時制【単位制前期】

出願情報の 入力

- ・インターネット出願システムのマイページから、出願手続きができます。
- ・選抜種別に注意しましょう。(推薦、一般、定時制)
- ・間違いのないように入力し、保護者に確認してもらいましょう。

全日制【推薦】受検(2/10)

- 面接(学校によっては作文、実技検査があります。)

合格 内定通知 (2/13)

●合格が内定した場合

●合格が内定しなかった場合

- ・全日制【一般】、定時制【単位制前期第1次】に志願できます。

全日制【一般】受検(3/6、7)

●学力検査

- <第1日> 社会(50分)、国語(50分)、理科(50分)
- <第2日> 英語聞き取り(約10分)・筆記(40分)、数学(50分)

全日制【追検査】受検(3/11)

社会、国語、理科、英語聞き取り・筆記、数学

定時制【単位制前期第1次】 受検 (3/6、7^{*})^{*} 7日は面接予備日

●作文、面接

(学校によっては国語、数学などの学力検査があります。)

合格発表

(全日制【推薦・一般】、定時制【単位制前期第1次】)(3/14)

- ・インターネット出願システムのマイページから、合格結果の確認ができます。
- ・全日制【推薦】で合格内定した人も、この日に合格発表があります。

第2次選抜

全日制【第2次】(募集定員に満たなかった場合に行われます。)

☆全日制【一般】を受検して合格にならなかった人が志願できます。全日制【一般】の学力検査の成績と調査書等によって合格者が決定されます。

定時制【単位制前期第2次】

☆県教育委員会が発表した募集定員と日程で選抜が実施されます。作文と面接があります。学校によっては学力検査があります。

定時制・通信制のその他の選抜

・他にも、下のような課程・入学者選抜制度があります。詳しいことは、このパンフレット13ページの一覧表を見てください。定時制【単位制後期】の概要は、令和7年5月以降に発表予定です。

定時制【単位制以外】

富山工業高校

3月下旬に選抜実施

※インターネット出願システムを用いて出願します。

通信制

雄峰高校

3月下旬に選抜実施

※入学願書を用いて出願します。

定時制【単位制後期】

新川みどり野、雄峰、志貴野、となみ野高校の4校

9月中旬に選抜実施。

※入学願書を用いて出願します。

推薦選抜

- 一人一人の個性や目的意識、様々な能力や実績などを重視する選抜方法です。
- 学力検査は行わず、調査書や推薦書、面接、作文、実技検査などの結果をもとに選抜します。
- 推薦選抜を志願できるのは、令和7年3月に中学校等を卒業する見込みの人で、次の条件(1)～(4)を満たし、中学校長等の推薦を得た人で、合格内定となった場合は、当該高等学校への入学を確約できる人です。
 - (1) 志願する学校、学科、コースを志望する動機が明白であり、目的意識を有すること
 - (2) 志願する学校、学科、コースに関する興味・関心があり、適性を有すること
 - (3) 志願する学校、学科、コースにおける各教科・科目の履修に必要な学力を有し、人物が優れていること
 - (4) 次のa、b、c、dいずれかに該当し、入学後のいろいろな活動に成果が期待される人であること
 - a 調査書の「学習の記録」が優良であること
 - b 専門に関する優れた能力又は実績があること
 - c 芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること
 - d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること

<推薦入学者選抜のしくみ>

※ (1)～(3)は、推薦志願者全員に共通する志願資格です。

※ (4)のa、b、c、dの、具体的な内容については、8ページからの「全日製の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧」にまとめてあります。自分の能力や適性を生かすことができる学校を探してください。

※ 各高校では、志願者一人一人について、中学校から提出された書類と面接等の結果を検討し、合格内定者を決定します。

(1)	志望する動機、目的意識など			
(2)	興味・関心・適性など			
(3)	学力、人物など			
(4)	a 学習の記録等	b 専門の実績等	c 芸術・文化・体育等	d 生徒会・社会奉仕等

一般選抜

- 学力検査と調査書（一般に内申書といわれている）などを用いる選抜方法です。
- 学力検査は、社会、国語、理科、英語、数学の5教科で、各教科は40点満点です。
- 調査書は中学校生活の状況をまとめたもので、学習状況、特別活動や部活動の状況、趣味・特技や欠席の日数などが記入されます。

【追検査】

- 次のア、イいずれかに該当し、学力検査の第1日、第2日の両日の全日程、又は第2日の全日程を欠席した人のうち、所定の手続を行ったうえ、志願先高等学校長からの許可を得た人は、追検査を受検することができます。

ア インフルエンザ罹患等により別室における受検も困難な人

イ やむを得ない理由のある人

第2次選抜

- 推薦選抜及び一般選抜の合格者数が、募集定員に満たなかった高校では、第2次選抜を行います。
- 志願できる人は、一般選抜を受検して、合格とならなかった人です。
- 高校では、調査書と、一般選抜の学力検査の結果などをもとに、合格者を決定します。

- 富山県立高校の全日製課程普通科の通学区域は、令和6年4月入学生からは、制限がなくなり、全ての学科等で県下一円になりました。

<https://www.pref.toyama.jp/3003/tsugakukuiki.html>



のしくみ

定時制・通信制

単位制の選抜

新川みどり野高校、雄峰高校、志貴野高校、小矢部園芸高校、となみ野高校の5校は、単位制というしくみを取り入れた定時制高校です。これらの高校の選抜は、次のように行われます。

<前期第1次選抜>

- 全日制の課程一般選抜の学力検査1日目と同じ日に、作文及び面接、学力検査を行います。高校によっては、面接を次の日に行う場合もあります。
- 各高校では、調査書と作文、面接、学力検査（高校によって異なる場合があります）の結果をもとに、合格者を決定します。

<前期第2次選抜>

- 県教育委員会が発表する募集定員などに基づいて、単位制以外の定時制第1次選抜と同じ日程で実施されます。
- 各高校では、調査書と作文、面接、学力検査（高校によって異なる場合があります）の結果をもとに、合格者を決定します。

<後期選抜> ※小矢部園芸高校を除く

- 春に行われる前期選抜（第1次、第2次など）での入学人数等を考慮して県教育委員会が発表する募集人員などに基づき、9月に実施されます。
- 各高校では、調査書と作文、面接、学力検査（高校によって異なる場合があります）の結果をもとに、合格者を決定します。

単位制以外の定時制の選抜と通信制の選抜

富山工業高校は、全日制とともに、単位制ではない夜間定時制も設置しています。また、雄峰高校は定時制とともに通信制も設置しています。これらの高校の選抜は、次のように行われます。

<第1次選抜>

- 選抜の方法は、調査書と作文や面接、学力検査など、高校や学科によって異なります。詳しくは13ページをご覧ください。

<第2次選抜>

- 第1次選抜で募集定員に満たなかった学科では、第2次選抜を行います。
- 選抜の方法や日程は、高校や学科によって異なります。詳しくは、各高校に問い合わせてください。

定時制・通信制の課程を持つ高等学校への受検や入学などについて、質問や相談がある場合には、各高等学校又は富山県教育委員会教育みらい室県立高校課（電話：076-444-3450）へ問い合わせてください。

定時制（単位制・単位制以外）・通信制の高等学校一覧

高等学校名	郵便番号	所在地	電話番号・FAX番号
新川みどり野	937-0011	魚津市木下新 144	(0765) 22-3535・(0765) 22-2119
富山工業	930-0887	富山市五福 2238	(076) 441-1971・(076) 432-1250
雄峰	930-0009	富山市神通町 2-12-20	(076) 441-4951・(076) 443-1695
志貴野	933-0023	高岡市末広町 1-7	(0766) 22-3113・(0766) 22-5746
小矢部園芸	932-0805	小矢部市西中 210	(0766) 67-1802・(0766) 67-1509
となみ野	932-0114	小矢部市清水 95-1	(0766) 61-2040・(0766) 61-8255

令和7年度入学者選抜ニュース

全日制の募集定員は6,024人（南砺平高等学校普通科の全国募集6人を含む）で、入学者選抜を実施するのは34校、82学科です。

全日制のうち、推薦選抜を実施するのは、27校、62学科で、募集人員は、1,190人です。

また、定時制は約960人、通信制は約300人の募集定員となっています。

全日制の課程選抜の概要

	実施校	実施学科	合 計
全日制の課程の入学者選抜	34	82	募集定員 6,024人 (全国募集6人含む)
一般	傾斜配点	2	
	面接	1	
	実技検査	2	推薦選抜 募集人員 1,190人
推薦	面接	27	
	作文	26	
	実技検査	4	

入学者選抜用語Q&A

Q 傾斜配点とは？

- ◆一般選抜において、調査書や学力検査の教科の配点の比重を、各高校の学科やコースの特色に応じて変える場合があります。
- ◆自分の得意な教科を生かすことができる制度です。
- ◆令和7年度一般選抜においては、以下の学校で傾斜配点を実施しています。

富山北部高校普通科体育コース
保健体育の調査書評定点を2.0倍

呉羽高校普通科音楽コース
音楽の調査書評定点を2.0倍

Q 実技検査とは？

- ◆学力検査ではみることのできない資質や能力を測るための方法です。
- ◆運動能力や基礎体力検査、音楽に関する能力検査、スケッチなどを実施する学校があります。

力検査、スケッチなどを実施する学校があります。

Q 面接の種類は？

- ◆個人面接と集団面接の2種類です。個人面接は、受検者が一人ずつ面接を受ける方法です。集団面接は、数名が一つのグループとなって面接を受ける方法です。
- ◆個人面接と集団面接の両方を行う高校もあります。

Q 推薦志願資格(a・b・c・d)とは？

- ◆各高校が、教育目標や特色に応じて、“このような生徒に入学してほしい”という希望や姿勢をあらわしたものです。
- ◆「実施概要一覧」(8ページから)を見て、自分に適したものがあれば、担任の先生に申し出てください。

富山県教育委員会からのお知らせ

富山県奨学資金制度

- 富山県では、経済的理由により修学に困難がある者に対して修学上必要な資金を貸与する奨学資金制度を実施しています。
- 詳しくは、富山県教育委員会のホームページをご覧ください。

URL

<https://www.pref.toyama.jp/3003/kurashi/kyouiku/gakkou/shuugakushien/kj00011813.html>



高等学校等就学支援金

授業料等に対する支援

- 保護者等の収入状況により就学支援金を支給します。(授業料等と相殺して無償化)
- オンラインによる申請、マイナンバーの提出が必要です。
- 判定基準は以下のとおりです。
(保護者等2人分の合計額により判定)
市町村民税の課税標準額×6%
－市町村民税の調整控除額<304,200円

奨学のための給付金

授業料等以外の教育費に対する支援

- 生活保護受給世帯、道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯に給付されます。(対象世帯は今後拡充される場合があります)
- 返済の必要はありません。
- 申請時期については、左記高等学校等就学支援金を含め、入学する学校からお知らせします。

外国語による入試情報の提供

「外国籍の人のためのとやまの高校進学ガイド」中国語、ポルトガル語、タガログ語、ウルドゥ語、英語版のパンフレットが県教育委員会のHPに掲載されており、それぞれの言語(英語を除く)で説明を聞くことができます。

URL: <https://www.tym.ed.jp/gaikoku/index.cgi>



あなたを生かす課程と学科・コース

自分にあった進路を見つけよう

■ 全日制

普通科	幅広い分野の普通教科に関する普通教育を通して、生徒一人一人の個性と能力を伸ばすとともに、幅広い教養や望ましい職業観、社会性を身につけることができます。	
	コース	普通科コース一覧 《1年次から始まるコース》 富山北部(体育) 富山東(自然科学) 呉羽(音楽) 《2年次から始まるコース》 入善(自然科学・観光ビジネス) 八尾(福祉) 富山南(国際) 大門(情報) 高岡南(人文科学) 福岡(英語)
専門学科	探究科学科	ゼミ形式の授業や課題研究等の探究的学習、少人数指導を通して、思考力や探究力、課題解決能力などを身につけることができます。
	国際科	英語をはじめとした実践的な語学を学び、国際感覚を身につけることができます。
	農業科	バイオテクノロジーやスマート農業などの先端技術をはじめ、栽培や飼育の基礎技術を身につけることができます。
	工業科	最先端技術から芸術分野まで様々な工業分野の学科があり、専門性の高い学習をします。
	商業科	簿記や情報処理などのほか、販売実習など実践的・体験的な学習を通して、ビジネス活動に必要な能力を身につけることができます。
	水産科	水産資源を確保・供給する優れた水産技術者になるための学習をします。
	家庭科	生活産業のスペシャリストを目指し、衣食住だけではなく、保育・福祉分野についても学習します。
	看護科	高校3年間と専攻科2年間を合わせた5年間一貫教育を通して、看護に従事する者として必要な学習をします。
福祉科	未来の地域社会を担う介護福祉士や訪問介護員をめざした実践的な学習をします。	
総合学科	一人一人の進路、能力・適性、興味・関心に対応した教育課程を設けています。2年次より、用意された様々な系列(分野)から、自分に合った系列(分野)を1つ選択し、学びを深めます。	

■ 定時制・通信制

定時制	○働きながら学べる 働きながら学ぶことができるよう配慮されています。修業年限は、原則として4年間ですが、通信制課程との併修、技能連携制度、一部の学校では仕事を単位に換算する実務代替の制度を利用し、3年間での卒業も可能です。 ○自分のペースで学べる 自分の学習計画に基づき、興味・関心などに応じた科目を選択して学ぶことができます。(単位制)	<定時制課程のある高等学校> 新川みどり野、雄峰、志貴野、小矢部園芸、となみ野、※富山工業 ※富山工業は単位制ではありません
通信制	○いつでも、どこでも学べる 自宅で教科書や学習書を使って勉強し、レポート提出と、年間約30日のスクーリング(面接指導)を受け、必要な単位を修得します。3年間での卒業も可能です。なお、准看護学校に在学して、学んだことの一部分が単位として認められる技能連携制度もあります。	<通信制課程のある高等学校> 雄峰

県立特別支援学校高等部入学者選抜のしくみ

県立特別支援学校高等部入学者選抜について

県立特別支援学校高等部入学者選抜には、A日程とB日程があります。

高等特別支援学校など軽度知的障害のある生徒を対象とする学校や学科では、特別支援学校へ入学を希望する人が、確実に進学先を確保できるように、他の学校や学科よりも早い日程で入学者選抜を実施します。これをA日程と呼んでいます。

また、A日程以外の特別支援学校高等部入学者選抜をB日程と呼んでいます。

令和7年度県立特別支援学校高等部入学者選抜の日程

項 目			期 間 等
A 日 程	第1次	志 願 期 間	令和7年1月29日(水)午前9時～1月31日(金)正午
		入 学 検 査	2月8日(土)
		追 検 査	2月12日(水)
		合格者の発表	2月14日(金)午後0時30分
	第2次	志 願 期 間	令和7年2月20日(木)午前9時～2月25日(火)正午
		入 学 検 査	3月6日(木)
		合格者の発表	3月14日(金)午後0時30分
B 日 程	第1次	志 願 期 間	令和7年2月20日(木)午前9時～2月25日(火)正午
		入 学 検 査	3月6日(木)
		合格者の発表	3月14日(金)午後0時30分
	第2次	志 願 期 間	令和7年3月17日(月)午前9時～3月18日(火)午後4時
		入 学 検 査	3月21日(金)
		合格者の発表	3月25日(火)午後0時30分

志願先の決定から合格発表までの流れなどについては、リーフレット「県立特別支援学校高等部に入学を希望するみなさんへ」を参照してください。リーフレットは、各学校に配布してあります。また、富山県のホームページからも見ることができます。

URL: https://www.pref.toyama.jp/documents/41972/r7tokubetushiensensbatsu_leaflet07.pdf



<リーフレット表紙>

全日制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

募集定員欄の()は募集定員の内数である。
 ・募集定員が「～程度」と表記されている場合は、推薦募集人員の上限を超えない範囲で、高等学校長が2名までの幅で募集人員を超えて合格内定者を決めることができる。
 ・推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等欄のa・b・c・dとは、令和7年度富山県立高等学校入学者募集要項第2の1(3)の規定により、推薦入学を実施する学校が同欄に明示したものを除き、同要項第2の2(4)に掲げる次のa・b・c・dをいう。
 a 調査書の「学習の記録」が優良であること。
 b 専門に関する優れた能力又は実績があること。
 c 芸術・文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること。
 d 生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	コース 開 設 学 年	一 般 選 抜			推 薦 選 抜						
				傾 斜 配 点	面 接	実 技 検 査	募 集 人 員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面 接	作 文	実技検査 内 容	備 考	
入 善	普 通 (自然科学コース)	140	2年次				8 程度	a b c d 合計8名 b (数学・理科のいずれかに興味・関心のある者、又は体験活動、探究活動に意欲的に取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d (生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有			
	(観光ビジネスコース)		2年次				8 程度	a b c d 合計8名 b (地域の文化・人・自然に興味・関心のある者、又はフィールドワーク、探究活動に意欲的に取り組む者) c, d は「自然科学コース」と同じ	個人	有			
	農 業	30					12 程度	a b c d 合計12名 b (植物の栽培に興味があり、実験や実習に意欲的に取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) d (生徒会やボランティア活動を継続的にを行い、その活動に貢献した者)	個人	有			
桜 井	普 通	120											
	土 木	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (数学や理科が得意で、土木技術に興味・関心のある者、又は土木系の大学等への進学や資格取得を目指す者) c (芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も継続する意欲のある者) d (生徒会活動、社会奉仕活動等に継続的に取り組んだ実績があり、入学後も意欲をもってその活動に参加する者)	個人	有			
	生 活 環 境	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (技術・家庭が得意で、生活や環境に興味・関心のある者、又は生活関連産業学科への進学や資格取得を目指す者) c (土木科のcに同じ) d (土木科のdに同じ)	個人	有			
魚 津	普 通	160											
魚 津 工 業	機 械	35					14 程度	a b c d 合計14名 a (数学、理科、技術・家庭等が優良で、専門技術に興味・関心がある者、又は工業系の大学等への進学を目指す者) b (機械の仕組み・機械加工などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (部活動等に関して優れた能力、又は実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有			
	電 気	35					14 程度	a b c d 合計14名 a (機械科のaに同じ) b (電気の仕組み・プログラムによる制御などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
	情 報 環 境	35					14 程度	a b c d 合計14名 a (機械科のaに同じ) b (環境保全や化学の観察・実験、又は機械の制御・ロボットなどに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有			
滑 川	普 通	80											
	農 業	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (国語、数学、理科、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
	商 業	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (国語、社会、数学、技術・家庭、英語のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
	海 洋	40					18 程度	a b c d 合計18名 b (国語、数学、理科、保健体育、技術・家庭のうち、いずれか3教科に優れている者) c (部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有			
上 市	総 合	150					45 程度	a b c d 合計45名 a (学習活動全般に積極的に取り組みさらに向上を目指す者) b (農業・家庭・福祉・商業系の専門分野に興味・関心が高い者) c (部活動等)に実績や意欲があり、入学後、本校の部活動等で活動する者) d (生徒会活動やボランティア活動等に実績があり、入学後も積極的に活動する者)	個人	有			
雄 山	普 通	80											
	生 活 文 化	40					12 程度	a b c d 合計12名 a (学習活動に顕著な成果が見られる者) b (技術・家庭に興味・関心が高く、優れており、資格取得に意欲的な者) c (専門学科に興味・関心がある者で、部活動等の能力又は実績があり、入学後も本校の部活動で継続して意欲的に活動する意志がある者) d (生徒会活動や継続的なボランティア活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有			

☆：桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、5名を帰国生徒の受入れ枠とする。

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	コース 開 設 学 年	一 般 選 抜			推 薦 選 抜						
				傾 斜 配 点	面 接	実 技 検 査	備 考	募 集 人 員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面 接	作 文	実技検査 内 容	備 考
中 央 農 業	生 物 生 産	73				集団		34 程度	a b c d 合計34名 b (植物の栽培や動物の飼育に興味・関心が高く、意欲的に実験・実習に取り組む者) c (同一の部活動等に継続して積極的に取り組んだ実績のある者) d (生徒会活動及び学級活動において活躍した者又は奉仕活動を継続的に行った者)	個人	有		
	園芸デザイン												
	バイオ技術												
八 尾	普 通 (福祉コース)	150	2年次					16 程度	a (約8名) c d 合計(約8名) a (福祉に興味・関心がある者で、調査書の「学習の記録」が優良である者) c (福祉に興味・関心がある者で、部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続できる者) d (福祉に興味・関心がある者で、生徒会活動や継続的な社会奉仕活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有		
	富山西	140											
富 山	普 通	160											
	探究科学	(約40)											
	理数科学	80											
富 山 中 部	普 通	160											
	探究科学	(約40)											
	理数科学	80											
富 山 北 部	普 通 (体育コース)	120 (約40)	1年次	保体 2.0倍	志願者は、以下の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)			24 名	b (以下の種目に関して優れた能力、又は実績がある者) ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女) ・その他の種目	個人	有	<共通種目> ・20m折り返し走(40m走) ・立ち幅及び ・ハンドボール投げ <選択種目> 志願資格の「その他の種目」の志願者も、以下の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	学校所定競技及び検査項目の連続実技検査提出
	くすり・バイオ	80						32 程度	a b c d 合計32名 b (数学、理科の教科が得意であり、「薬の製造や分析」及び「人の健康」・「バイオテクノロジー」に興味・関心が高く、薬業関係への進路を目指す者) c (部活動等において実績や能力・意欲があり、入学後も継続的に部活動に参加し、学習との両立を目指す者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲を持ってそれらの活動に参加しようとする強い意志を持つ者)	個人	有		
	情報デザイン	40						18 程度	a b c d 合計18名 b (美術・技術・家庭の教科が得意であり、デザインやコンピュータ・グラフィックスに興味・関心が高く、デザインやビジネス系の大学等へ進学を目指す者) c (くすり・バイオ科のcに同じ) d (くすり・バイオ科のdに同じ)	個人	有	円柱又は立方体のいずれかの鉛筆デッサン(60分)	
富 山 工 業	機 械 工 学	80						32 程度	a b c d 合計32名 a (数学、理科、技術・家庭等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、工業系の大学等を目指す者) b (機械の仕組みなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c (部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続的に部活動に参加しようとする強い意志をもつ者) d (生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲をもつて、その活動に参加する者)	個人	有		
	電子機械工学	40						16 程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (機械の制御やロボットなどに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有		
	金 属 工 学	40						16 程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (金属加工や工業材料などに興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有		
	電 気 工 学	80						32 程度	a b c d 合計32名 a c d (機械工学科に同じ) b (電気に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有		
	建 築 工 学	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭、美術等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、建築系の大学等を目指す者) b (建築や美術の分野に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者) c d (機械工学科に同じ)	個人	有		
	土 木 工 学	40						16 程度	a b c d 合計16名 a c d (機械工学科に同じ) b (土木技術に興味・関心があり、意欲をもつものづくりに取り組む者)	個人	有		

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学 科 名	募 集 定 員	コース 開 設 学 年	一 般 選 抜			推 薦 選 抜						
				傾 斜 配 点	面 接	実 技 検 査	備 考	募 集 人 員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面 接	作 文	実技検査 内 容	備 考
富山商業	流通ビジネス	80						40	a b c d 合計40名	個人	有		
	ビジネス マネジメント	40						20	a b c d 合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	80						40	a b c d 合計40名	個人	有		
富山 い ず み	総 合	150						45 程度	a (約13名) b (約17名) c d 合計(約15名) a (学習活動全般に優れていて、さらに向上を目指す者) b (「英語と国語」あるいは「英語と社会」が優れていて、さらに向上を目指す者) b (「数学と理科」が優れていて、さらに向上を目指す者) b (「技術・家庭」と「国語、社会、数学、理科、英語のうち1教科」が優れていて、さらに向上を目指す者) c (部活動等において能力や実績があり、入学後も本校の部活動等で継続して意欲的に活動する意志がある者) d (生徒会活動やボランティア活動などに実績があり、入学後も継続して活動する意志がある者)	個人	有		
	看 護	40						14 程度	a c d 合計14名 a c d (総合学科に同じ)	個人	有		
富山東	普 通 (自然科学コース)	240 (約40)	1年次					12 程度	a b 合計12名 b (数学・理科について興味・関心が高く、優れている者)	個人	有		
富山南	普 通 (国際コース)	200	2年次					12 程度	a b 合計12名 a (調査書の「学習の記録」が優良であり、学習意欲の高い者) b (英語に興味・関心が高く、優れている者)	個人	有		面接は英語による 質問と回答を 含む。
呉 羽	普 通 (音楽コース)	230 (約30)	1年次	音楽 2.0倍				18 程度	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出 推薦入学 者選抜に 準ずる (注) ・自由曲・選択曲については、 暗譜の必要はない。	個人		<声楽を選択する者> ・自由曲を暗譜で歌唱 ・課題曲を視唱 <器楽(ピアノ)を選択する者> ・選択曲を暗譜で演奏 ・課題曲を視唱 <器楽(ピアノ以外)を選択する者> ・自由曲を暗譜で演奏 ・課題曲を視唱 (注) ・課題曲・選択曲の詳細については、本校「推薦入学者選抜実技検査内容について」を参照 ・歌唱については、本校教諭が伴奏を行う。	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出
	小 杉	150						45 程度	a b 合計(約7名) c d 合計(約38名) a (探究的な学習に関心が高く、大学への進学を目指す者) b (「技術・家庭」に優れた能力を持ち、商業・情報や食物・園芸・保育・福祉のいずれかの分野に興味・関心が高く、資格取得や実習に意欲的な者) b (「英語」に関する興味・関心が高く、英語の学習や資格取得に意欲的な者) c (美術に興味・関心と実績や能力・意欲があり、その学びを継続する意志のある者) c (柔道で優れた実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、男女約12名) c (女子ハンドボール、野球等で実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者) d (生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有	<cの美術の志願者> ・素描(鉛筆デッサン) <cの柔道、女子ハンドボール、野球の志願者> ・選択種目(柔道、ハンドボール、野球のうちから1つ)	
大 門	普 通 (情報コース)	120	2年次					12 程度	a b c d 合計12名 a (理工系への興味・関心があり、調査書の「学習の記録」が優良である者) b (理工系への興味・関心があり、「数学・理科・英語」のうち、いずれかの2教科について優れた能力・実績がある者) c (理工系への興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力・実績がある者) d (理工系への興味・関心があり、生徒会やボランティア活動に積極的に取り組んだ実績がある者)	個人	有		
新 湊	普 通	120								個人	有		
	商 業	40						18 程度	a b c d 合計18名 a (学習活動に顕著な成果がみられ、入学後もさらにその向上を目指す意欲のある者) b (珠算・英語等、商業関連の検定資格を有し、入学後もさらに高度な検定資格取得を目指す意欲のある者) c (野球などの部活動等において優れた能力や実績があり、入学後も継続して部活動に取り組む意欲のある者) d (生徒会活動、ボランティア活動、地域貢献活動等において功績があり、入学後も継続して取り組む意欲のある者)	個人	有		
高 岡	普 通	160											
	探究科学 理数科学 (約40) 80 人文社会科学 (約40)												

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	コース 開 設 学 年	一 般 選 抜			推 薦 選 抜						
				傾 斜 配 点	面 接	実 技 検 査	備 考	募 集 人 員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面 接	作 文	実技検査 内 容	備 考
高 岡 工 芸	機 械	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や資格取得を目指す者) b (ものづくりが好きで、機械の構造に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (部活動等において優れた能力又は実績を持ち、入学後も部活動等を継続し、学業と両立する強い意志を持つ者) d (生徒会活動やボランティア活動の実績があり、その活動に貢献した者)	個人	有		
	電 子 機 械	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、メカトロニクスやコンピュータの活用に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	電 気	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (ものづくりが好きで、電気やコンピュータの仕組みに興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	建 築	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (数学、理科、美術、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や建築技術者を目指す者) b (建築の設計・施工に興味・関心があり、将来、建築技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	土 木 環 境	40						16 程度	a b c d 合計16名 a (機械科のaに同じ) b (測量や土木構造物、環境問題に興味・関心があり、将来、土木や環境化学の分野の技術者を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有		
	工 芸	30						12 程度	a b c d 合計12名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来にわたり美術工芸の学習を深めたい者や大学等への進学を目指す者) b (地場産業である木材工芸、金属工芸、漆工芸等の伝統工芸に興味・関心があり、将来、関連分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	立体制作とそのスケッチ	
	デザイン・絵画	40						20	a b c d 合計20名 a (国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来、美術やデザインの専門職を目指す者や大学等への進学を目指す者) b (各種応募作品展等で入選実績がある者や、将来、デザイン・絵画等の分野での活躍を目指す者) c (機械科のcに同じ) d (機械科のdに同じ)	個人	有	鉛筆デッサン	
高 岡 商 業	流通ビジネス	80						40	a b c d 合計40名	個人	有		
	国際ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	40						20	a b c d 合計20名	個人	有		
伏 木	国 際 交 流	90						30 程度	a b c d 合計30名 a (調査書の「学習の記録」が優良である者) b (英語に優れ、外国語や国際交流等に興味・関心が高く、それらに積極的に取り組む意欲のある者) c (サッカー、野球等の運動部や文化部等において能力、意欲又は実績があり、入学後も継続できる者) d (生徒会活動やボランティア等で実績があり、入学後も継続する意欲のある者)	個人	有		面接では簡単な英語による面接を行う
高 岡 南	普 通 (人文科学コース)	160	2年次					12 程度	a b 合計12名 b (国語・社会・英語の3教科について優れた能力、又は実績を有する者)	個人	有		
	普 通 (英語コース)	120	2年次					16 程度	a b c d 合計16名 a (調査書の「学習の記録」が優良であり、各教科に対する学習意欲が高い者) b (英語に優れた能力及び実績があり、さらに高める意欲のある者) c (英語に興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野で優れた能力又は実績がある者) d (英語に興味・関心があり、生徒会活動やボランティア活動で実績がある者)	個人	有		面接は英語による面接を含む

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	コース 開 設 年	一 般 選 抜			募 集 人 員	推 薦 選 抜				面接 文	実技検査 内 容	備 考
				傾 斜 配 点	面接	実 技 検 査		備 考	推薦志願資格（a・b・c・d）別人員等					
氷 見	普 通	8 0												
	農 業 科 学	(20)					8 程度	a b 合計（約4名） c d 合計（約4名） b（理科・技術・家庭に優れ、グローバルな視点を持ちICT技術等を用いた地域農業の課題解決に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者） c（ハンドボール、野球、自転車などの活動に優れた能力や実績があり、入学後もそれらを継続し積極的に活動する意志をもつ者） d（生徒会活動・ボランティア活動等において優れた能力や顕著な実績があり、入学後も積極的に活動する意志のある者）	個人	有				
	海 洋 科 学	(20)					8 程度	a b 合計（約4名） c d 合計（約4名） b（理科・技術・家庭に優れ、日本の水産・海洋分野の課題解決に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者） c d（農業科学科の c d に同じ）	個人	有				
	ビ ジ ネ ス	4 0					1 8 程度	a b 合計（約6名） c d 合計（約12名） b（英語、国語又は社会に優れ、商品やサービスの開発を通じた地域経済の活性化に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者） c d（農業科学科の c d に同じ）	個人	有				
	生 活 福 祉	4 0					1 8 程度	a b 合計（約8名） c d 合計（約10名） b（国語、英語、技術・家庭に優れ、ヒューマンケアや食物調理、ファッションなどに興味・関心があり、それらを通じた地域との交流活動や探究的な学習に意欲をもつ者） c d（農業科学科の c d に同じ）	個人	有				
砺 波	普 通	1 6 0												
砺 波 工 業	機 械	6 0					2 4 程度	a b c d 合計24名 a（数学、理科、技術・家庭が優良で専門技術に興味・関心があり、工業系の大学等をめざす者） b（機械加工やものづくりに興味・関心があり、機械に関する資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者） c（部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後の部活動で継続して意欲的に取り組んでいく意志のある者） d（生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志がある者）	個人	有				
	電 気	3 0					1 2 程度	a b c d 合計12名 a（機械科の a に同じ） b（電気技術やものづくりに興味・関心があり、電気工事士などの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者） c（機械科の c に同じ） d（機械科の d に同じ）	個人	有				
	電 子	3 0					1 2 程度	a b c d 合計12名 a（機械科の a に同じ） b（電子・情報技術やものづくりに興味・関心があり、電気通信の工事担任者やITパスポートなどの資格取得に積極的に取り組む意欲がある者で、将来専門技術者として活躍しようとする者） c（機械科の c に同じ） d（機械科の d に同じ）	個人	有				
南 砺 福 野	普 通	1 4 0												
	国 際	3 0					1 0 程度	a b c d 合計10名 a（学習活動全般にわたり真面目に取り組む、その成果が認められる者） b（英語に優れ、外国文化に興味・関心のある者） c（芸術・文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も活動し、学習との両立を目指す者） d（生徒会活動、ボランティア活動等に自発的、継続的に取り組んだ実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者）	個人	有		面接は英語による 面接を含む		
	農 業 環 境	3 0					1 2 程度	a b c d 合計12名 a（国際科の a に同じ） b（農業に興味・関心が高く、農業や農業土木に関する進路を目指す者） c（国際科の c に同じ） d（国際科の d に同じ）	個人	有				
	福 祉	3 0					1 5	a b c d 合計15名 a（国際科の a に同じ） b（高齢者福祉・障害者福祉について興味・関心が高く、福祉に関する進路を目指す者） c（国際科の c に同じ） d（国際科の d に同じ）	個人	有				
南 砺 平	普 通	3 0												
石 動	普 通	1 2 0												
	商 業	4 0					1 8 程度	a b c d 合計18名 a（学習活動全般に工夫をし、その成果が見られ、さらに向上を目指す者） b（商業の学習に関連する検定資格（珠算、英語、情報処理等）を持ち、さらに資格取得を目指す者） c（サッカー、野球、その他の部活動や社会体育活動に優れた能力又は実績があり、入学後もその活動を継続し、学習との両立を目指す者） d（生徒会活動や社会奉仕の活動に顕著な実績があり、入学後も継続して活動することを目指す者）	個人	有				

	全日制の課程 の入学選抜	一般選抜			推 薦 選 抜		
		傾斜配点	面 接	実技検査	面 接	作 文	実 技 検 査
実 施 校 数	3 4 校	2 校	1 校	2 校	2 7 校	2 6 校	4 校
実 施 学 科 数	8 2 学科	2 学科	3 学科	2 学科	6 2 学科	6 1 学科	6 学科
合 計	募集定員 6, 0 1 8 名				推薦選抜 募集人員 1, 1 9 0 名		

全国募集による入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	備 考
南 砺 平	普 通	6 ※	作 文 面 接	※ 県内募集定員30の外数

定時制の課程 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	授 業 開 設 形 態	作文	面接	学力検査	備 考
新川みどり野	普 通	約 120	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	福 祉 教 養	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
富 山 工 業	機 械	約 40	夜間制	有	併用	国 語 数 学	・生産機械科は富山県技術専門学院 金属加工科(短期課程)の合格者を対象とする。 ・第2次選抜の検査実施日は、令和7年3月28日(金)の予定。
	電 気	約 40	夜間制	有	併用		
	生 産 機 械	約 40	夜間制(技能連携)	有	併用		
雄 峰	普 通	約 200	昼間単位制Ⅰ部(約80) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約80)	有	個人	国 語 数 学	
	総合ビジネス	約 40	夜間単位制	有	個人		
	生 活 文 化	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
志 貴 野	普 通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	国 際 教 養	約 40	夜間単位制	有	個人		
	総合ビジネス	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人		
	生 活 文 化	約 40	昼間単位制Ⅱ部	有	個人		
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	昼間単位制	有	個人	国 語 数 学	
と な み 野	普 通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人	国 語 数 学	
	総 合 福 祉	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
合 計		約 960					

通信制の課程 入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
雄 峰	普 通	約 300	面 接 等	・入学願書(学校所定のもの) ・調査書(ただし、平成31年3月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもちて代えることができる) ・衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し
	衛 生 看 護			

専攻科 学校別入学者選抜実施概要一覧

学 校 名	学 科 名	募集定員	選抜方法	提 出 書 類
中 央 農 業	農 業			
	・ 担い手育成コース	約 10	面 作 接 文	・入学願書(学校所定のもの) ・卒業見込み証明書又は卒業証明書 ・出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの) ・履歴書(学校所定のもの) ・当農状況調査書(学校所定のもの)
	・ 監理コース	約 10	面 作 接 文 実 技	・入学願書(学校所定のもの) ・履歴書(学校所定のもの)
雄 峰	生 活 科 学 ・調理師養成課程 (午前部) (午後部)	60 (30) (30)	面 作 接 文	・入学願書(学校所定のもの) ・高等学校等調査書又は成績証明書 ・成績証明書を提出した者のみ卒業証明書
小 矢 部 園 芸	園 芸	約 40	面 作 接 文	・学校所定の入学願書 ・高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等 ・履歴書
合 計		約 120		

富山県教育委員会

〒930 - 8501 富山市新総曲輪1番7号

T E L 076 - 431 - 4111 (代表) (所管課 教育みらい室県立高校課)

https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/index.html

